



学校だより

令和7年度1月号

東京都立町田の丘学園校長

<http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/>

令和8年1月8日発行

新しい年を迎えて

校長 原島 広樹

謹んで新年のお慶びを申しあげます。今年も、どうぞよろしく
お願ひいたします。

2026年、令和八年、干支は午年（うまどし）となりました。
馬は、飛躍の象徴とも例えられます。教職員一同、保護者の皆さまと一緒に、整えられた校舎や施設を活用し、児童・生徒の将来の自立と社会参加に向けて、町田の丘の教育内容を充実させてまいります。



さて、ここで馬にまつわる学校の歴史の話をいたします。町田の丘学園は、都立町田養護学校として昭和48年に開校し、50年に野津田町の本校舎に移転し、当時から知的障害教育と肢体不自由教育の併置校となりました。野津田の地での教育活動が始まったのです。

その後、野津田の自然環境を生かした様々な体験活動を通して、身体を動かすことを感じることや考えることを合わせて学んでいく教育活動が、町田養護学校の専門性の高い指導として広く知られるようになりました。一例として近隣のポニー牧場での乗馬学習は、体幹の運動と動物とのふれあいの心の指導として、当時としては注目されました。今日では動物公園などで行えるこのような体験学習は、町田の施設や地域の人々の理解と協力の上に行われていたことです。

もちろん、現在はインクルーシブな教育の実現に向けて周囲の理解も進み、校内で行える授業の内容も高めていますが、コロナ禍の活動制限と校舎分離による学部間の教育課程分断により、町田ならではの周辺の素晴らしい教育環境を見直して、連携した活動を今一度考える必要があると思います。

冒頭に述べたように、新しい校舎と施設とともに野津田公園、野津田高校を始めとする近隣施設、自然環境は、児童・生徒に町田で自立し、社会参加する力を育むために大切なものです。学校として来年度以降の授業準備を今から進めてまいります。
どうぞご理解とご協力を願いします。



舞台発表 B部門高等部3年 「この地球の続きを」

当日ご覧いただきました観客の皆様には心より感謝申し上げます。

まちだ祭終了後、御家庭からいただいた連絡帳を拝読し、温かい言葉や高い評価を頂戴したことに深く感謝申し上げます。生徒たちが日々積み重ねてきた努力が皆さんに伝わったことを大変嬉しく思っております。

今年の舞台は「桜」を象徴に、「卒業」への思い、昨年度の大阪修学旅行、そして大阪万博へつながる未来のテーマを組み合わせて構成しました。当日は急な欠席もあり、ぶっつけ本番で役割を担った生徒もいましたが、互いに支え合いながら全力を尽くし、桜の美しさと旅立ちの季節を重ねた表現を見事に仕上げました。

また今回は、声を出すことが制限された世代だからこそ、あえてマイクを使わずに挑戦しました。練習では声の出し方や表現を工夫し、本番では会場へしっかり声を届けることができました。和太鼓、空手、ダンス、歌など、どの場面にも努力と協力、最後までやり遂げる姿勢が表れていました。

この舞台を共につくることができたのは、生徒たちの努力とともに、日頃より支えてくださる保護者の皆さんのおかげです。心より感謝申し上げます。卒業まで残りわずかとなりましたが、今後とも応援をよろしくお願ひいたします。



展示 A部門中学部

A部門中学部では、美術の授業で作成した作品に加え、普段の学習内容や社会見学での学習成果をまとめて展示しました。

今年度の美術は「ゴッホ」の「星月夜」と「ひまわり」を取り上げて鑑賞し、その描画技法の特徴について学習しました。展示のテーマは「ひまわり」で、ゴッホの「ひまわり」のイメージを絵や校内のひまわりを撮った写真、お花紙で作った花などで表現しました。



美術の作品



Aグループ 国語・数学



Bグループ 理科



社会見学



作業体験

B部門中学部では、工コ班・清掃班・事務サービス班の3つの班に分かれ作業体験を行いました。3年生は舞台発表の為、1・2年生は前半と後半に分かれてそれぞれ取り組みました。

開始時刻になると保護者の方や、ご来賓の方々、在校生が大勢来てくださいり、時には長蛇の列になる程の賑わいを見せっていました。

そんな中、2年生は昨年の経験を生かしお客さんに対して堂々と大きな声で接客することができました。1年生は初めての作業体験の為、最初は緊張した表情を見せていましたが、時間が経つにつれて笑顔を見せていました。各40分間立ち続け接客に取り組み、終了時には疲れた様子もなく皆が晴れやかに終えることができました。



工コ班

紙ちぎり＆紙すき体験



清掃班

清掃体験



事務サービス班

クラフトパンチ体験



販売

環境班では、恒例の農産物販売を行いました。本当はもう少し色々な種類の野菜を販売する予定だったのですが、今年の猛暑で、夏の間にツル性の農作物などが枯れてしまい、小松菜とサツマイモのみの販売となりました。それでも、1学期から何度も畑に足を運び、畝づくりや水やりを全員で続けて実った作物。思い入れのある野菜です。おかげさまで、3年生も2年生もほどなく完売することができました。

その他、事務班のメモ帳や製造班のクラフトコースター、喫茶班のマドレーヌ販売も活況で、生徒は売り子やレジ、サービス係にと元気に取り組んでいました。



喫茶班

マドレーヌ販売



製造班

コースター販売



事務サービス班

メモ帳販売



環境班

農産物販売